

知りたいことがある # 相談したいことがある

無料



そんな
ときこそ

わかもの 若者サポーター！

ご希望に応じて、みなさまのところへ「相談」または「お手伝い」としてお伺いします。1回2時間、3回まで利用可能です。

相談：活動の悩みや困りごとへのアドバイス
お手伝い：作業のサポート、レクチャー



利用者の声（抜粋）

なかなか事業の内容を話せる人が周囲にいない中で、まとまりづらかった相談内容でも、要点と落としどころを整理して伝えてくださったので、頭の中のモヤモヤがなくなってきました。自分はまだ利用します。

利用した方がいいます。聞き上手なサポーターさんが自身の経験談を交えて話をしてくださるので、頭の中のモヤモヤがなくなってきました。自分はまだ利用します。

少しでも起業に興味があれば先ゆく方に聞くのが一番の近道だと思えます。検討中の方でも知識として知っておけば行動する時の安心材料になると思います。



リフォーム現場に行き、お話を聞かせて頂いたリアドバイスをもらったりしました。そうする事で頭の中でイメージできたり発見あったりと前に進むことができました。

専門知識をお持ちのプロの方から直接お話を聞き、メリット、デメリットどちらも教えて頂いたので凄く為になりました。挑戦してみたいが悩んでいる。と言う方にはとてもオススメです。まずは話を聞いてみる。それが私の一歩のとてもいいきっかけになりました。

若者サポーターのご利用について

■利用対象

- ・山形県内で地域を元気にするための活動をしている（これから始めようとする）高校生～40歳位の団体または個人
- ・山形県内へ移住を検討している40歳位までの個人
- ・山形県内の教育機関（サポート受益者が高校生～40歳位であること）

■実施期間

令和5年3月31日まで

（受付終了は3月10日）

※予定数になり次第終了になります。

■お申し込み方法

上記QRコードからお申し込みください。

インタビュー 経験者に聞く！ ～地域活動はじめての一步～



TVAyamagata
(在山形ベトナム人協会)
代表
笹原 智子 さん

在山形ベトナム人協会は令和二年9月2日に設立し、今年で二年目を迎えます。これまで、山形県内に住む外国人を対象に、定期的な日本語教室や、山形に慣れ親しんでもらうための文化体験イベントなどを行ってきました。代表の笹原智子さんは仕事と家庭に加えて、協会の活動を行っています。三足の草鞋で活躍する笹原さんに、団体設立までのステップを伺いました。

はじめるための5ステップ

Step1 社会のために出来ることを探して

40歳という節目を迎えて、私が社会にできることは何だろうと探すようになりました。ある時、外国人労働者問題をメディアで見て、山形にもベトナムの方が多く入っていることを知ったんです。そこから関心を持ち始めて、元々国際交流が好きだったこともあり、支援活動をしたいと思いました。

Step3 相手を知ろう

私はベトナムの方の知り合いがおり、日本でも働く外国人労働者の実態を知らなかったため、まずはベトナムの方を知ろう、友達を増やしていこうと思いました。いろいろなところへ出向き、出会った技能実習生からリアルな話を聞くことができました。

Step5 背中を押されて

変わらない情勢の中で立ち上げに踏み切れたのは、仙台の団体の代表の方からの後押しが大きかったです。精一杯手伝うからやりましょう、という熱い想いが支えになりました。ベトナムの独立記念日である9月2日に設立、キックオフイベントを行いました。イベントにはベトナムの方や知人など、20名余りが参加してくれて、無事スタートすることができました。

Step2 小さなことからやってみよう

やりたい事が見つかったとしても、一歩踏み出せないこともあると思います。私の場合は、今を逃したらチャンスはないと思い、まずは小さなことから動き始めました。仙台に私が理想とする団体を見つけて、見学に行きました。代表と話をして、応援してもらって、「自分は一人じゃない」ということに気づきました。

Step4 メンバーを集めよう

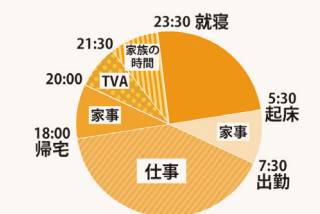
もともと地域貢献がしたいという思いから、子ども食堂のボランティアに参加していて、そこの代表の方に相談をしました。すると、協力するよと言ってもらえたんです。ボランティア活動をしている人たちだからこそ、共感してくれたのだと思います。そうして仲間たちと相談するようになりました。

コロナ禍
準備期間と考
え、少しずつ動
き出す

Point!

活動を続ける上で欠かせないのが、家族の理解。笹原さんは社会人と高校生の2人のお子さんと夫、そして愛犬との4人+1匹家族。毎朝全員分のお弁当を作っています。家事と仕事だけでなく、活動も入ってくるとなれば、家族の協力も必須です。笹原さんは家族との時間も大切に、時折一緒に参加してもらうことで、家族の協力を得ました。

笹原さんの一日のスケジュール（平日）



メッセージ

何かを始めたいとき、うまくいくことを前提にせず、まずは小さいこと、自分のできることからやってみようと思ってもらいたいです。それが続かなかったとしても、それはあくまで続かなかっただけで、ダメということではないし、やってみることが大事だと思います。それから、山形にいる外国人労働者に関心を持っていただけなら嬉しいです。



★日本語教室のボランティアを募集しています！興味のある方はお声がけください。